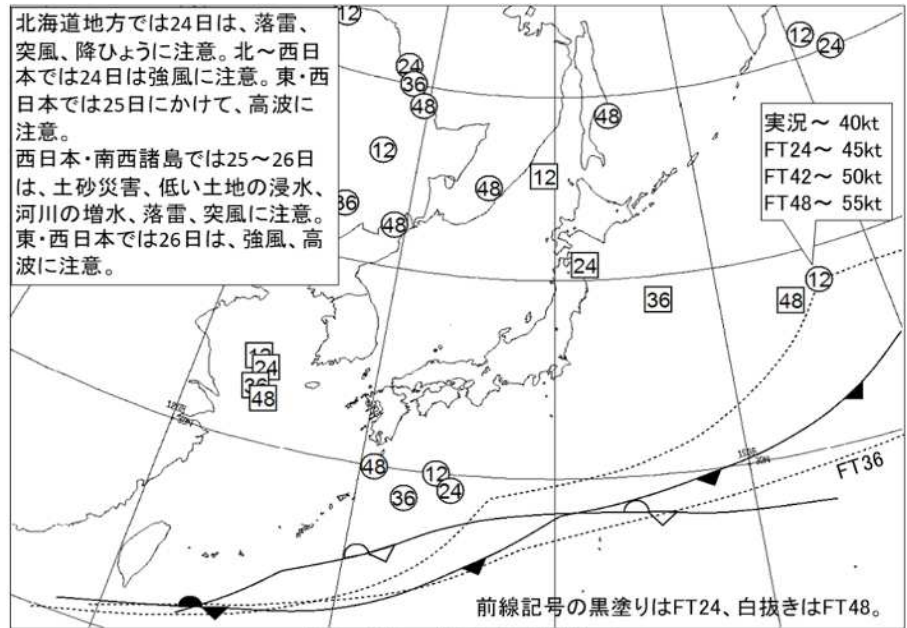


1. 実況上の着目点

- ① 寒冷渦が北海道の北側を東進中。09時には稚内・釧路・札幌で500hPa-33℃以下を観測。北海道地方では所々で対流雲が発生している。
- ② 500hPa 5700m付近の正渦度極大域に沿って低気圧が足早に東北東進。北に盛り上がった形状の雲域が北に拡大し発達傾向がある。日本の南から沖縄南西諸島に連なる雲バンドの南端に前線を解析。前線付近では発雷を検知しているが、南下傾向があり、沿岸の海域からは離れつつある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の寒冷渦は、24日夜には千島近海に進む。北海道地方では24日は、大気の状態が不安定となる所がある。落雷、突風、降ひょうに注意。
- ② 上空の流れは500hPa5700m付近と5760～5820mの2つが日本付近で合流、一体化しているが、25日にかけては分かれる傾向となり、南側の流れに沿って1項②の前線は南下して停滞。北側の流れに対応して、25日に日本海から日本の東に移動する高気圧の西側の下層暖気移流の強まりに伴って四国沖に低気圧が発生する。その後26日にかけて東シナ海でトラフが深まるのに伴い、四国沖～九州の南の低気圧は発達傾向となり、前線も日本の南で北上傾向となる。低気圧の周辺に流れ込む850hPa相当温位318K以上の暖湿気とトラフの接近に伴う500hPa-15～-18℃の上空寒気により大気の状態が不安定となり、雷を伴って激しい雨の降る所がある。西日本や南西諸島では25～26日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷、突風に注意。
- ③ 1項②の低気圧と前線の北側は気圧の傾きが大きく、北～西日本では24日の目先は、北寄りの風が強い所がある。また、低気圧が通過した太平洋側では波が高くしている所がある。前線の南下に伴い強風は24日でおさまるが、25日にかけて波が高い所がある見込み。北～西日本では24日は強風に注意。東・西日本では25日にかけて高波に注意。東・西日本では、2項②の低気圧の発達傾向に伴い、風が再び強まり、高波が続く所がある。東・西日本では26日は、強風、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：関東・伊豆諸島・近畿・四国・九州北部・九州南部3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。